

革新系 参議院議員 誕生すると

— 沖縄県が、**停滞した宜野湾市化**する危機再来 —

都市成長力において全国で
低迷した7年間 悪夢が再来



保守市政で混雑解消が実現された 330 号線我如古交差点

現在、来たる参議院選挙に立候補している**革新系候補は**、かつて宜野湾市長を歴任していた時代、**宜野湾市の発展を阻害**していた経緯があります。市内幹線道路の三三〇号線の渋滞を一向に解消出来ず、我如古交差点はいつも混雑していました。

その結果は東洋経済社が毎年発行する**都市成長力ランキングが全国でも低迷**し二〇〇番台を推移していたことから明らかです。

宜野湾市では革新系市長から**保守系市長**になって後、二〇一四年には、**全国一位の都市成長力**となりました。市内大山地域にニトリやドン・キホーテ、ゼビオ・スポーツなど健全な商業施設が林立するようになりました。

**市民生活より、自らの思想
信条優先、国の補助金を拒絶**

革新系候補が宜野湾市を発展させきれなかった理由は何でしょうか。それは自らの**思想・信条を市民生活の向上より優先**させたからです。

政府と協力することをよしとしない思想が、市民に犠牲を強いたのです。今度は、宜野湾市民だけではなく、**全県民をその思想の犠牲**にしようというのでしょうか。

保守市政になり全国一の都市成長力となった二〇一四年版



県内最大の公約**不履行**候補

「普天間飛行場の5年での撤去」実現させず、知らんぷり？

有言不実行の説明責任 7年間もまったく果たさず

オスプレイが駐機する
普天間飛行場



参議院選挙に立候補している革新系候補は、二〇〇三年の市長選挙立候補の際、普天間飛行場は米国の法律に違反しており、その点を突けば、「五年以内に閉鎖出来る」と豪語、公約としました。

しかし第一期目を終了する頃、まだ公約が実現されていないとの市議の批判に、「その為あと一年努力するべく再立候補する」と二期目の当選を果たしたのでした。

しかし任期を一年残して二〇一〇年、県知事選に立候補し見事に落選。肝心なことは、その時点で既に、県内最大の公約とも言うべき「普天間飛行場の五年以内の撤去」**宣言以来、七年も経過していても係らず、何の説明責任も果たさなかった**と言うことです。

宜野湾市民は無責任かつ 無計画な過去を忘れない

説明責任は「公約」発表から**十四年経過した現在でも行われていません**。それどころか、現実的な普天間飛行場の撤去計画を妨害するような行動に終始しています。

この行為も同候補者の、大学時代に行った学生運動に起因する**思想・信条のなせる業**でしょう。宜野湾市政に不誠実だった同候補を、国政の場に、県民の代表として派遣するなど論外です。宜野湾市民は、同候補の**過去の無責任さを忘れはしません**。